

令和4年3月

保存版

清水町 防災ガイドマップ



清水市街地・字清水・下佐幌・人舞・熊牛・美蔓・松沢地区

防災の心がけ

本町では、平成28年8月の大雨や平成25年2月に震度5弱の地震を記録するなど、過去幾度となく地震や台風、大雨などの自然災害にみまわれてきました。

防災・減災においては、まずは自分の命を守ることが基本です。いつ災害が発生しても落ち着いて対応できるよう、日頃から備えておくことが大切です。

➡ 避難所を確認しましょう



➡ 避難方法や集合場所を確認しましょう



➡ 非常持出品を準備しましょう



いざという ときのために

非常用持出品は避難時にまず持ち出すべきものです。非常用持出品袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所においておきましょう。備蓄品は、災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。災害後に取りに行けるよう、倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくことが大切です。

➡ 非常用持出品を準備しましょう

非常用持出品	確認(日付)
非常食3日分程度 (乾パン・缶詰・栄養補助食品・チョコレートなど)	/
飲料水3日分	/
貴重品 (預金通帳、印鑑、保険証、免許証など)	/
懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池	/
ヘルメット、防災ずきん、上履き (学校避難の場合)	/
厚手の手袋、毛布	/
缶切り、ライター、マッチ、ナイフ	/
生理用品、携帯用トイレ	/
救急箱 (絆創膏、消毒液、包帯、常備薬、お薬手帳など)	/
下着、靴下、長袖、長ズボン、防寒用ジャケット、雨具	/
感染症対策用品 (消毒用アルコール、マスク、体温計)	/

➡ 備蓄品を準備しましょう

備蓄品	確認(日付)
レトルト食品 (ごはん、おかゆなど)、アルファ米	/
インスタントラーメン、カップみそ汁	/
飲料水 (1人1日3ℓ)	/
生活用水 (給水用ポリタンク、お風呂などにためる)	/
紙皿、紙コップ、割り箸	/
カセットコンロ、ランタン	/
ラップフィルム ※お皿に敷くと洗う必要がない	/
ティッシュペーパー、ウェットティッシュ	/
簡易トイレ、水のいらないシャンプー	/
ビニール袋 ※雨具、敷物、簡易トイレとしても使用可能	/
ロープ、工具セット ※救助活動用	/
ほうき、ちりとり ※瓦礫などの除去用	/
長靴 ※瓦礫などからの保護用	/
	/
	/
	/

避難時の服装

- 荷物は歩きやすいよう背負える範囲にとどめる。
- ヘルメットがない場合は、代用として防災頭巾を使う。
- 長靴は水が入ると歩きにくくなり危険なため、履きなれた靴にする。



安全に避難するために

災害時には、清水町から災害情報や避難指示などの情報を発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動をとりましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

警戒レベル	取るべき行動	避難の情報
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1 (清水町が発令)
~~~~< 警戒レベル4までに必ず避難！ >~~~~		
<b>4</b>	危険な場所から全員避難	避難指示 (清水町が発令)
<b>3</b>	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※2 (清水町が発令)
<b>2</b>	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 (気象庁)
<b>1</b>	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

●警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

●警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

●避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## こんな方法でお知らせします

● テレビ・ラジオ



● 登録された電話・メール・ファックス



● 防災行政無線



● 広報車



● 伝達員



※電話、メール、ファックスで情報を受け取るには事前の申し込みが必要です。役場へご連絡下さい。

火災・救急は緊急通報 **119**

落ち着いて、次の4つのことを伝えてください。

- 1.火災か救急か
- 2.住所や場所の目安
- 3.詳しい状況
- 4.通報者の名前・連絡先

土砂災害・洪水などの災害情報は  
北海道防災情報

北海道の気象情報などがわかります。パソコン、携帯から見るができます。

北海道防災情報



携帯サイトは上のコードからアクセス！

災害時は  
災害用伝言ダイヤル **171**

災害発生時に利用できます。伝言の録音が可能となるのは、被災地にある固定電話の電話番号です。

録音 171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)  
再生 171+2+自分の家の電話番号(市外局番から)

町内の防災情報

町内の防災情報は清水町役場ホームページから見るができます。

北海道十勝清水町



携帯サイトは上のコードからアクセス！



清水町役場 〒089-0192 清水町南4条2丁目2番地  
TEL:0156-62-2111(代表)



# 風水害

近年、短時間に大雨が降る頻度が増えています。中小の河川や明きよなどに対する備えが大切です。

## 1 知っておきましょう

### 警報・注意報の内容

災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。

注意報	警報	特別警報
最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。	役場が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。	避難情報に従い直ちに避難！外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ！
		

## 2 備えましょう

### 雨・風の対策をしましょう

➡ 屋根、塀などの点検・補強をする。



➡ 側溝を掃除し、排水しやすくする。



➡ 風で飛ばされそうなものは室内へ撤去する。



➡ ガラスの飛散防止にフィルムを貼る。



### 周囲の変化をとらえましょう

黒雲の接近、雷鳴、冷風などは天候が急変するサインの1つ。気付いたら避難行動を。



下記のような前兆現象に気付いたら、周囲に知らせすぐに避難行動を。

#### (土石流の前兆)

- 山鳴りや「ドーン」と音がする。
- 川が濁り、流木が混ざる。
- 川の水位が下がる。



#### (がけ崩れの前兆)

- 崖面から小石が落ちる。
- 裂け目から水が湧き出す。



#### (地すべりの前兆)

- 地面にひび割れや陥没が起きる。
- 樹木が傾く。



## 3 身を守る

### 自宅で待機する時

➡ 浸水してからの避難は非常に危険。状況により、自宅など建物に留まる。

➡ 建物内に留まる場合は、2階など高いところへ避難する。



➡ テレビやラジオ、役場からの発表情報などから正しい状況を確認する。

### 避難する時

➡ 事前に非常用持出品や安全に避難所まで避難できるルートを確認する。

➡ 避難前にはガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。

➡ 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。

➡ 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。子どもはロープでつなぐ。

➡ 浸水しているときは、棒で確認しながら歩き、側溝や水路に注意する。

➡ 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



# 地震

大地震による被害の多くは家屋の倒壊です。予測困難な災害であるため、日頃から屋内の安全を見直しておくなどの備えが重要です。

## 1 知っておきましょう

### 大きな揺れに注意

緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半が揺れに気付く。	大半が揺れに驚く。	物につかまりたいと感じる。	行動に支障が出る。	立っているのが困難。	はわないと動けない。	揺れにほんろうされる。
						

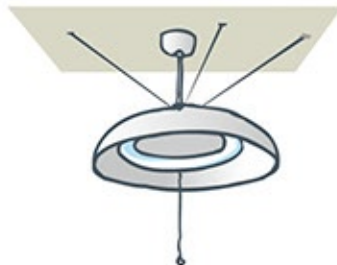
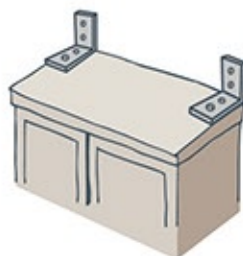
## 2 備えましょう

### 家の安全を見直しましょう

- ➡ 耐震診断を受け、必要に応じて補強する。
- ➡ 壁や塀にひび割れなどないか点検し補強する。
- ➡ 家具が倒れても大丈夫か、配置を見直す。
- ➡ 出入口がふさがれないよう避難経路を確保する。



- ➡ 棚などはL字金具などで柱に固定する。
- ➡ 照明は補助ひもで天井に固定する。
- ➡ テレビなどは粘着マットで固定する。
- ➡ 冷蔵庫は転倒防止ベルトで固定する。



## 3 身を守る

### 地震発生時

- ➡ 家では丈夫な机の下などに避難する。
- ➡ 施設内では係員の指示に従う。あわてて出口に走らない。
- ➡ 運転中はハザードランプを点灯し、緩やかに速度を落とす。道路の左側に停止し、エンジンを切る。
- ➡ 外にいるときは塀の倒壊、看板やガラスの落下に注意する。



### 地震発生後

- ➡ スリッパなどをはき、転倒した家具やガラスの破片などに気を付ける。
- ➡ 揺れが収まったら火の始末をする。
- ➡ 窓や戸を開け、出口を確保する。
- ➡ テレビ、ラジオ、町などの情報から正しく状況を把握する。
- ➡ 自宅の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認する。
- ➡ 危険が迫っていると判断した場合は避難する。
- ➡ 避難は徒歩で行い、持ち物は背負える範囲にする。
- ➡ 近隣住民で協力して消火活動や救護活動を行う。



# 清水市街地区

# 清水町防災マップ

保存版  
(令和4年3月)

## 災害の被害を軽減するために

減災において重要な「自助」「共助」「公助」の取組のうち、基本となるのは「自助」です。一人ひとりがどのような危険があるのかを考え、被害を軽減するための対策を行うことが重要です。

### 自助 一人ひとりが自分の身の安全を守る

- 非常用持出品・備蓄品の準備
- 屋内・屋外の点検・補強
- 避難所・避難経路の確認
- 自分の判断で避難など

## 減災

### 共助 地域や身近にいる人同士が助け合う

- 自主防災組織による防災の取組など

### 公助 国や地方公共団体などの取り組み

- 公的機関による救援・救出、復旧活動など

## 地図の見方

当該地区には、該当のない凡例もあります。

十勝川水系ベケレ川及び佐幌川の水位周知区間について、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を示した図面です。浸水するおそれのある区域は、ベケレ川流域の24時間総雨量493mmの大雨により、ベケレ川がはん濫した場合に想定される浸水状況及び、佐幌流域の48時間総雨量528.7mmの大雨により、佐幌川がはん濫した場合に想定される浸水状況を、シミュレーションにより予測したものです。

十勝川水系その他支川の浸水想定区域については、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法であるため、浸水範囲や浸水深などは概略で示していることから、表示以上の浸水深になることや浸水が予想されていない箇所でも浸水が起こる可能性があります。

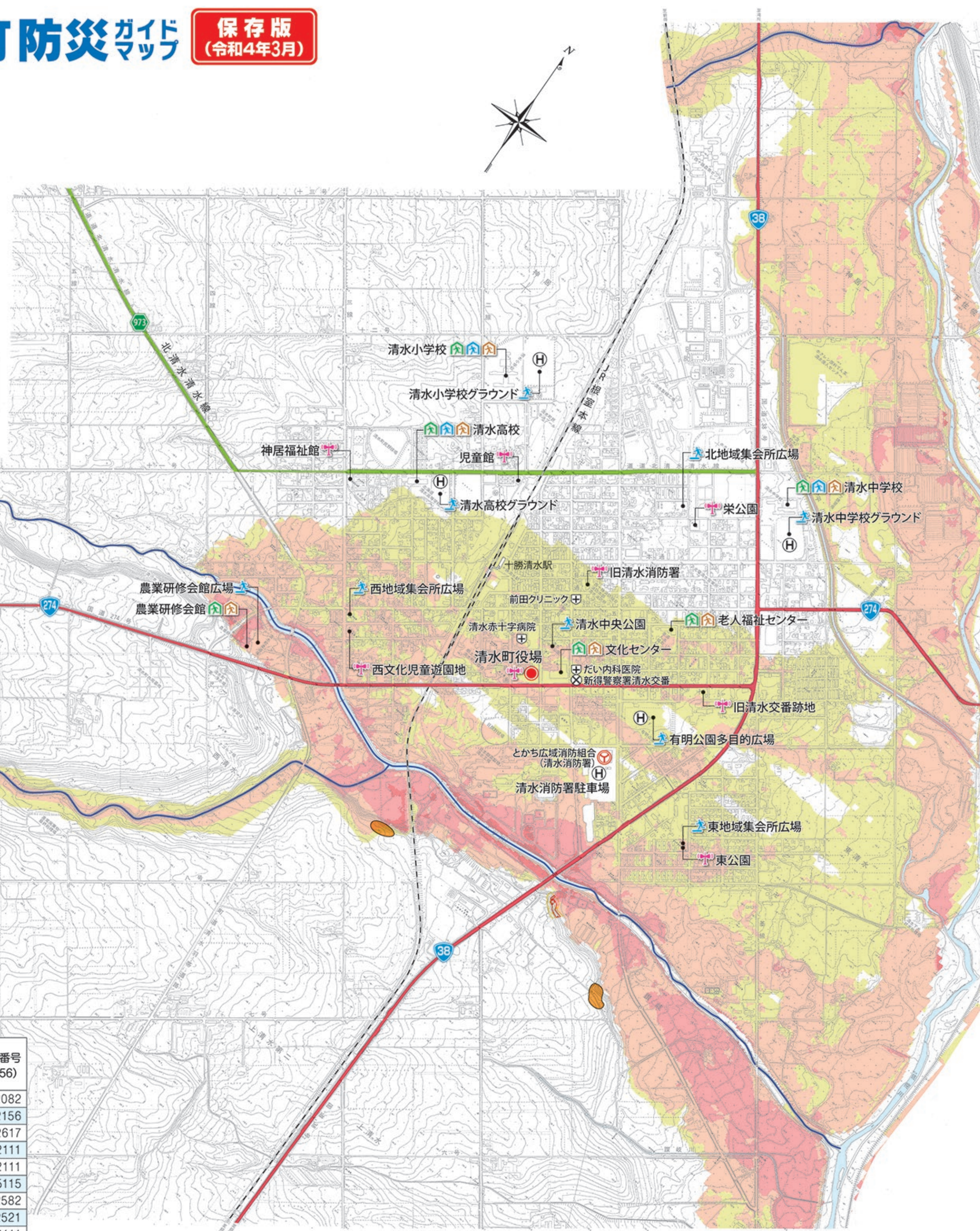
十勝川水系	河川名	1時間総雨量
十勝川水系	イワシマクシベツ川	144mm
	ナイ川	160mm

小河川のはん濫やさらなる大雨は想定に含まれておりませんが、この区域以外でもはん濫が起こったり、浸水が深くなる場合もあります。

## 避難所は次の施設の中から開設します

町では災害の状況に応じてその都度、開設する避難所をお知らせします。

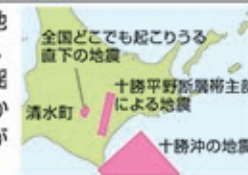
指定避難所 (避難生活を送る場所)	指定緊急避難場所 (一時的に避難する場所)			所在	電話番号 (0156)
	洪水及び内水はん濫の場合	がけ崩れ、土石流及び地滑り、大規模火災の場合	地震の場合		
清水小学校	清水小学校	清水小学校	清水小学校グラウンド	清水第2線71番地	62-2082
清水高校	清水高校	清水高校	清水高校グラウンド	北2条西2丁目	62-2156
清水中学校	清水中学校	清水中学校	清水中学校グラウンド	本通11丁目	62-2617
			北地域集会所広場	北2条7丁目	62-2111
			東地域集会所広場	南9条8丁目	62-2111
文化センター	文化センター	文化センター	清水中央公園	南3条3丁目	62-5115
老人福祉センター	老人福祉センター	有明公園多目的広場	有明公園多目的広場	南2条7丁目	62-2582
農業研修会館	農業研修会館	農業研修会館広場	農業研修会館広場	清水第4線59番地	62-2521
			西地域集会所広場	南2条西5丁目	62-2111



## 清水町の揺れやすさを知っておきましょう

清水町で起きる可能性のある想定地震の位置や規模から、地域の揺れやすさを示しています。

清水町で想定される地震は右図のとおりです。最大では震度6弱の揺れも予想されることから、普段からの備えが大切です。



## 揺れやすさマップ

十勝平野新層状断層帯による地震を想定した場合



### 防災施設の凡例

	指定避難所
	指定緊急避難場所 (洪水、内すいはん濫の場合)
	指定緊急避難場所 (がけ崩れ、土石流及び地滑り、大規模火災の場合)
	指定緊急避難場所 (地震の場合)
	臨時ヘリポート
	防災無線屋外拡声器

### 土砂災害のおそれのある箇所の凡例

	がけ崩れ
--	------

### 山地災害のおそれのある箇所の凡例

	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	過去に被害を受けた河川

### 浸水するおそれのある区域の凡例

	水の深さが 5.0m~
	水の深さが 3.0m~ 5.0m
	水の深さが 0.5m~ 3.0m
	水の深さが 0.0m~ 0.5m

### 着色された色の見方

	5.0m ~	
	3.0m ~ 5.0m	一般的な家屋の2階が水没する
	0.5m ~ 3.0m	2階床下に相当
	~ 0.5m	1階床下に相当

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。  
※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

1:12,500

# 字清水・下佐幌・人舞・熊牛・美蔓・松沢地区 清水町防災マップ

保存版  
(令和4年3月)

## 避難所は次の施設の中から開設します

町では災害の状況に応じてその都度、開設する避難所をお知らせします。

指定避難所(避難生活を送る場所)		指定避難所(一時的に避難する場所)		所在	電話番号(0156)
	清水小学校		洪水及び内水氾濫の場合	清水小学校グラウンド	清水第2線71番地 62-2082
	清水高校		がけ崩れ、土石流及び地滑り、大規模火災の場合	清水高校グラウンド	北2条西2丁目 62-2156
	清水中学校		地震の場合	清水中学校グラウンド	本通11丁目 62-2617
				北地域集会所広場	北2条7丁目 62-2111
				東地域集会所広場	南9条8丁目 62-2111
				清水中央公園	南3条3丁目 62-5115
				有明公園多目的広場	南2条7丁目 62-2582
				農業研修会館広場	清水第4線59番地 62-2521
				西地域集会所広場	南2条西5丁目 62-2111
				下佐幌基線98番地	62-2111
				下佐幌基線98番地04	69-2222
				人舞169番地	62-2111
				人舞169番地	69-2222
				人舞289番地	62-5281
				熊牛125番地	62-6888
				熊牛68番地	62-2111
				熊牛11番地	62-2111
				美蔓西23線85番地	62-5556
				清水第3線32番地	62-4096
				羽帯第2線97番地	63-3200

### 地図の見方

当該地区には、該当のない凡例もあります。

十勝川水系十勝川の洪水想定区域については、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

流域の浸水するおそれのある区域は、72時間総雨量279mmの大雨により、十勝川がはん濫した場合に想定される浸水状況を、シミュレーションにより求めたものです。

十勝川水系ペレベ川の水位周辺区域については、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

流域の浸水するおそれのある区域は、ペレベ川流域の24時間総雨量493mmの大雨により、ペレベ川がはん濫した場合に想定される浸水状況を、シミュレーションにより求めたものです。

十勝川水系その他支川の浸水想定区域については、水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨による洪水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

なお、このシミュレーションの実態に当たっては、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法であったため、浸水範囲や浸水深などは概略で示していることから、実際の浸水状況と異なる可能性があります。

※御前川上流については清水町が上記と同様の手法にてシミュレーションした図面です。

小川川のはん濫やさらなる大雨は想定に含まれておりません。この区域以外でもはん濫が起これば、浸水が深くなる場合があります。

### 清水町の揺れやすさを

#### 知っておきましょう

清水町で起きる可能性のある想定地震の位置や規模から、地域の揺れやすさを示しています。

清水町で想定される地震は右図のとおりです。最大では震度6弱の揺れも予想されることから、普段からの備えが大切です。

### 揺れやすさマップ

十勝平野断層帯主部による地震を想定した場合



### 災害の被害を軽減するために

被災において重要な「自助」「共助」「公助」の取組のうち、基本となるのは「自助」です。一人ひとりがどのような危険があるのかを考え、被害を軽減するための対策を行うことが重要です。

- 自助** 一人ひとりが自分の身を守る
  - 非難用持出し(貴重品の準備)
  - 屋内・屋外の危険・増強
  - 避難所・避難経路の確認
  - 自分の判断で避難
- 共助** 地域や身近にいる人同士が助け合う
  - 自主防災組織による防災の取組
- 公助** 国や地方公共団体などの取組み
  - 公的機関による救済・復旧・復旧活動

十勝川水系	1時間総雨量	2時間総雨量	3時間総雨量
金平川	130mm	144mm	160mm
イワシマクシベツ川	144mm	160mm	167mm
ナイ川	160mm	167mm	165mm
洪山川	167mm	165mm	146mm
久山川	165mm	130mm	149mm
バノコホナイ川	146mm	197mm	130mm
イノノ川	130mm	191mm	127mm
御影川	149mm	197mm	224mm
清水ビバツ川	197mm	130mm	130mm
豊郷川	130mm	191mm	127mm
ホネオツ川	220mm	191mm	197mm
小林川	191mm	127mm	224mm
芽室川	127mm	130mm	197mm
シバラビバツ川	224mm	197mm	176mm
西土狩川	130mm		
八千ノ川	197mm		
鏡川	176mm		

## 北熊牛地区



### 防災施設の凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所(洪水、内すいはん室の場合)
- 指定緊急避難場所(がけ崩れ、土石流及び地滑り、大規模火災の場合)
- 指定緊急避難場所(地震の場合)
- 臨時ヘリポート
- 防災無線屋外拡声器

### 土砂災害(特別)警戒区域の凡例

- がけ崩れ

### 山地災害のおそれのある箇所の凡例

- 山腹崩壊危険地区
- 崩壊土砂流出危険地区
- 過去に被害を受けた河川

### 浸水するおそれのある区域の凡例

- 水の深さが10.0m~
- 水の深さが5.0m~10.0m
- 水の深さが3.0m~5.0m
- 水の深さが0.5m~3.0m
- 水の深さが0.0m~0.5m

### 着色された色の見方

- 10.0m ~
- 5.0m ~ 10.0m
- 3.0m ~ 5.0m (一般住宅の2階が浸水する)
- 0.5m ~ 3.0m
- 0.0m ~ 0.5m (2階以下に相当する高さ)

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。  
※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

1:30,000